

第4回 練馬区地域公共交通会議 議 事 録

○開催年月日、開会及び閉会時間

平成 23 年 8 月 25 日（木） 午前 10 時 00 分～11 時 00 分
練馬区役所 19 階 1902 会議室

○出席者

	氏名(代理出席)	公職等
会長	黒田 叔孝	練馬区環境まちづくり事業本部都市整備部長
委員	関根 康洋	西武バス株式会社経営企画部運輸計画課長
委員	高島 俊和	国際興業株式会社運輸事業部業務課長
委員	若山 忍 (新見 和則)	関東バス株式会社運輸部運行計画担当主査
委員	窪田 洋 (伊佐地 健)	京王電鉄バス株式会社営業部営業第一担当課長
委員	村上 正明	東京都交通局自動車部計画課長
委員	荻野 嘉彦	国産自動車交通株式会社常務取締役
委員	若林 淳	一般社団法人東京バス協会乗合業務部担当課長
委員	藤崎 幸郎 (「崎」の字は「たつさき」) (金子 常雄)	社団法人東京乗用旅客自動車協会専務理事
委員	植田 敏裕	社会福祉法人練馬区社会福祉協議会事務局長
委員	渡邊 雍重	練馬区町会連合会長
委員	篠 利雄	練馬区商店街連合会長
委員	小矢島 応行 (池田 史子)	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 輸送担当首席運輸企画専門官
委員	佐藤 公俊	東京都建設局第四建設事務所管理課長
委員	鷺田 功	練馬区環境まちづくり事業本部土木部管理課長
委員	椎名 康雄	警視庁交通部管理官交通規制課課長代理
委員	根本 幸郎 (室井 宏)	警視庁練馬警察署交通課長
委員	庄司 澄男	警視庁光が丘警察署交通課長
委員	永福 学 (中村 吉宏)	警視庁石神井警察署交通課長
委員	大森 宣暁	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授

○議題

- | | |
|---------------------------|-----------|
| (1)練馬区における公共交通空白地域改善の取組状況 | 資料 1、資料 2 |
| (2)南大泉地域の改善計画（案）について | 資料 3 |
| (3)氷川台ルートにおける再編検討開始について | 資料 4 |

1 開会

- 事務局 これより第4回練馬区地域公共交通会議を開会する。
- 《資料確認》
- 開会にあたって委員のご紹介をさせていただく。
- 《委員紹介》
- 第5条第1項に基づき、環境まちづくり事業本部都市整備部長黒田委員を会長とする。また、第5条第3項に基づき、会長代理を指名する。
- 会長 会長代理は東京大学の森委員にお願いしたい
- 事務局 委嘱状を机上配布とさせていただいた。これをもって委嘱式とかえさせていただきたい。
- 委員の出席状況について、本日の出席者は20名であり、委員の出席が過半数に達していることをご報告する。
- なお、本日の会議は練馬区地域公共交通会議設置要綱に基づき公開とする。したがって本日の議事内容は、練馬区のホームページに掲載させていただくことをご了承いただきたい。

2 議事

(1) 練馬区における公共交通空白地域改善の取組状況

- 事務局 《資料1、2について説明》
- 委員1 現在データを収集中と思うが、再編後のルートの利用状況はどうか。
- 事務局 震災の影響と思われるが、コミュニティバスの利用が全般的にやや減少している傾向がある。
- 会長 次回会議までにデータを収集し、報告してほしい。

(2) 南大泉地域の改善計画（案）について

- 事務局 《資料3について説明》
- 会長 本件は協議事項である。委員の合意が得られると、道路運送法第九条四項に基づき関係者の合意が得られ協議が整ったとして、運行に向けた申請手続きを進めていくこととなる。何かご意見、ご質問があればお願いしたい。
- 委員2 試験運行とあるが、運行期間や評価についてどのように考えているのか。
- 石神井台8丁目交差点については、安全性の観点から道路用地買収による拡幅に向けて引き続き取り組んでほしい。
- 事務局 練馬区都市交通マスタープランの考え方より、概ね3年間の試験運行を想定している。評価の基準については、同様にマスタープランで区の負担割合がランニングコストの1/2程度までとされているため、基準を満たさない場合は再編などの検討を行う。
- 用地取得については、継続して取り組んでいく。
- 委員3 今回の路線は新設ということだが、既存路線への影響はどうなっているのか。
- 事務局 資料3の1頁および4頁にあるように、南北方向には既存路線がなく、公共交通空白地域となっている。重複する部分は富士街道の部分のみで、既存の路線バスが運行して

いる。路線の5割以上が新規路線となっている。

委員4 狭い道路を運行する路線について、安全性や騒音について住民からご意見が寄せられることがある。十分な配慮をして運行していただきたい。

事務局 これまでも住民や町会代表等を対象に度々説明を行ってきているが、今後も住民への周知を徹底してきたい。

委員5 西武新宿線方面への延伸可能性を検討とあるが、どこかの駅へ接続することを考えているのか。

事務局 検討候補としては、上石神井駅または武蔵関駅になろうかと思われる。

会長 ご意見がなければ、南大泉地域の改善計画（案）については承認をいただき、協議が整ったということで、今後運行に向けた準備を進めさせていただきたい。

(3)氷川台ルートにおける再編検討開始について

事務局 <<資料4説明>>

委員6 現在日大練馬光が丘病院まで運行しているが、病院が撤退した時点で、大規模な再編前に路線変更は考えているのか。

事務局 現在担当部署で次の病院を誘致しており、年度内には決定する予定となっている。したがって、名称は変更となるが、病院としては存続すると思われるため、今後地域における検討結果により現行ルートを維持していく形となる場合には、そのまま病院への運行を継続していくことを想定している。

会長 区としては病院を残す方向性で検討しているということでご理解いただきたい。

委員7 元々は福祉園への足の確保という目的があったとのことだが、現在は福祉園の送迎機能はどうなっているのか。また、再編とは言うが、場合によっては路線の廃止などもありうるのか。

事務局 元々は送迎機能との両立といった趣旨があったが、現在は福祉園の送迎は福祉園事業の中で行っており、コミュニティバスとは別のものとなっている。

路線の見直しについては、公共交通空白地域改善計画の検討時点では、当初廃止を含めた範囲で検討していたが、パブリックコメントにより区民より存続要望を多くいただいたため、基本的には再編による対応を考えている。

3 その他

会長 委員または事務局から何かあるか。
(特になし)

4 閉会

事務局 以上をもって第4回練馬区地域公共交通会議を閉会する。本日は誠にありがとうございました。

(以上)